

男女がともに歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。



▲互いを思いやり、手を取り合うことが大切です

家族で過ごす時間が増えた一方、普段以上に家族と密接に関わることで今までよりもストレスを感じ、家族間で不調和を起すといった事例もあるようです。

「DV」被害に悩んでいませんか

新型インフルエンザ対策特別措置法に基づく「緊急事態宣言」が4月7日に発出されました。福岡県も対象地域に指定され、外出自粛や施設の利用制限を受けながらの生活を余儀なくされました。精神的なストレスがたまり、心身共に不調を感じた人もいたのではないのでしょうか。

妻が育児や家事に費やす時間は夫と比較して約2・7倍多いという調査結果があります。夫婦の時間の使い方が極端に異なることから、不満や批判、イライラが重なり、相手への攻撃に転化していくことが想像されます。また、家族間の不調和の度合いが増すと、配偶者からの差別的暴言や暴力被害が深刻化することが懸念されます。そこで内閣府は県と連携し、支援体制を強化するべく「DV相談プラットフォーム」という電話相談窓口を設置しています。配偶者やパートナーから受けているさまざまな暴力について、専門の相談員が一緒に考えます。緊急

宿泊先の提供などの直接支援やインターネットでの相談、英語、中国語、韓国語など外国語相談にも対応しています。「これってDVかな」「暴力を振るわれている」「自分だけでなく子どもたちのことも心配」など、どんな相談も気軽にご連絡ください。

市も、あらゆる暴力の根絶に向けた環境づくりの推進に取り組んでいます。みなで力を合わせて、暴力被害の防止に取り組んでいきましょう。

問い合わせ 市男女共同参画推進室 ☎43・8116

内閣府の相談窓口 DV相談プラス ☎0120・279・889

内容でした。きょうだいで書展でのダブル受賞の快挙や津屋崎小学校の5年生の取り組みも良い記事だと思いました。(Worldさん／通り堂／65歳)

いつもお便りありがとうございます。5月号では、市内の中学生や大学生が取り組んだ福津の歌づくりの歩みを、街角記者で福津の歌づくり実

行委員会のメンバーの一人の安堂容平さんが紹介してくれました。また、他の記事で市内の小学生が活躍している姿をお届けしました。

私も子どもたちや学生の皆さんががんばっている姿を見て、元気をもらうことができました。これからも、市内の子どもたちや学生たちの活躍に期待しています。

お便り・投稿大募集

「好いとお！福津」は皆さんと一緒に作るページです。広報紙の感想などがあれば17ページの市まちづくり推進室宛てのがきやメールなどで受け付けています。街角カメラレポートは、記事を写真と一緒に市まちづくり推進室宛てに郵送またはメールで投稿

してください。投稿記事は500文字程度で作成し、写真は郵送の場合は印刷したものを、メールの場合は2MB以上のJPEGデータを送付してください。ただし、送信データが10MBを超えると受信できないことがありますのでご注意ください。

お送りいただいた内容は、紙面の都合で加筆、修正、短

縮する場合があります。また、応募多数の場合は選考します。掲載できないこともあります。原稿や写真は返却しませんのでご了承ください。

匿名を希望する場合は、その旨を明記してください。たくさんさんの声をお待ちしています。

受付、問い合わせ 市まちづくり推進室 ☎43・8113、メール info@city.fukutsu.lg.jp

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、帰省を自粛している県外在住の福津出身の人へ、市が福津の歌のCDを送ったという新聞記事を読み、うれしく思いました。(よっちゃんさん／花見が丘／65歳)

津屋崎小学校では、5年生

新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言によって、ゴールデンウィーク期間中の外出自粛が求められる中、市外に住む福津出身の人に帰省を自粛してもらおうと企画しました。この趣旨に賛同して

街角カメラリポートで紹介されていた津屋崎小学校のエコバッグの取り組みはとても良いことだと思いました。私の孫も小学5年生なので、この記事を話題に話をしました。

広報5月号の感想 子どもたちの取り組みが素晴らしい



好いとお！福津

読者の声を中心に、みんなと広報・マーケティング係で作る交流コーナーです。広報ふくつの感想はもちろん、市政へのご意見、ふるさと福津市への思いや日々の生活のこと、市内の出来事のレポートなどを掲載していければと考えています。たくさんさんの声をお寄せください。

街角カメラリポート



▲みまもり隊のおかげで横断歩道も安全に渡れます

市内の各地では子どもたちの登下校を見守る地域のボランティアである「みまもり隊」の活動が行われています。みまもり隊の皆さんは、市から支給された黄色のユニフォームを着ています。

私が住んでいる津屋崎小学校区でもみまもり隊の活動が盛んに行われています。朝になると津屋崎小学校の前の交差点などに70歳代から80歳代のおじいちゃん、おばあちゃん

このコーナーでは読者の皆さんから寄せられた、市内の出来事や旬の話題を写真とともにお届けします。

んが子どもたちの見守りのためにやっています。みまもり隊の皆さんは子どもたちをはじめとした歩行者が横断歩道を渡るとき、安全に通行できるように旗を使いながら周囲に気を配ります。

小学校の高学年の子どもたちがみまもり隊の皆さんに「おはようございます」とあいさつをする、新1年生の子どもたちも高学年に負けじと、更に大きな声であいさつをします。みまもり隊の皆さんも「元気な声、良いね。おはようございます」と返します。こうやって地域の大人と子どもたちの絆が結ばれています。

笑顔で毎朝子どもたちが安全・安心に過ごせるように見守ってくれている人たちがいることで、子どもたちだけではなく、保護者や学校関係者へのささやかな手助けになっていると思います。みまもり隊の皆さんにいつも感謝です。(M・Hさん／星ヶ丘)